

中小企業景況調査報告書（愛知県概略版）

（平成29年1月～3月期実績、平成29年4月～6月期見通し）

1 県内商工会地区における産業全体景況

「売上額」「採算」「資金繰り」すべての指標が悪化

今期の産業全体の景況は、売上額D Iが $\Delta 24.4$ 、採算D Iが $\Delta 20.4$ 、資金繰りD Iが $\Delta 14.2$ となり、対前期比でそれぞれ8.1ポイント、2.3ポイント、2.3ポイント減少し、すべての指標が悪化に転じた。売上額D Iが大きく落ち込んだ。































次期は、すべての指標で前期（平成28年10月～12月）と同程度まで回復する見通しである。

業種別では、サービス業を除く3業種ともすべての指標が悪化し、特に売上D Iは2ケタの落ち込みとなった。

産業全体の主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I $\Delta 24.4$ （対前期比 $\Delta 8.1$ 悪化） 次期予想 $\Delta 16.5$ （対前期比 7.9 好転）
- ・採算D I $\Delta 20.4$ （対前期比 $\Delta 2.3$ 悪化） 次期予想 $\Delta 17.2$ （対前期比 3.2 好転）
- ・資金繰りD I $\Delta 14.2$ （対前期比 $\Delta 2.3$ 悪化） 次期予想 $\Delta 12.0$ （対前期比 2.2 好転）

産業全体景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
28年4月～6月		$\Delta 19.0$ 		$\Delta 17.6$ 		$\Delta 7.3$ 
28年7月～9月		$\Delta 24.1$ 		$\Delta 20.8$ 		$\Delta 13.3$ 
28年10月～12月		$\Delta 16.3$ 		$\Delta 18.1$ 		$\Delta 11.9$ 
29年1月～3月		$\Delta 24.4$ 		$\Delta 20.4$ 		$\Delta 14.2$ 
29年4月～6月 （見通し）		$\Delta 16.5$ 		$\Delta 17.2$ 		$\Delta 12.0$ 

2 業種別景況

(1) 製造業

製造業はすべての指標が悪化

製造業では、売上額D Iが△39.9、採算D Iが△14.3、資金繰りD Iが△20.6となり、対前期比でそれぞれ20.4ポイント、2.6ポイント、12.3ポイントすべての指標が悪化した。

前期は、すべての指標が好転したが、今期は、売上額D I、資金繰りD Iが2ケタのマイナスとなった。

売上額D I、採算D I、資金繰りD Iともに、平成27年4～6月期より、四半期ごとに好転、悪化を繰り返している。

次期は、売上額D I、資金繰りD Iが改善する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △39.9 (対前期比 △20.4 悪化) 次期予想 △11.4 (対前期比 28.5 好転)
- ・採算D I △14.3 (対前期比 △2.6 悪化) 次期予想 △20.6 (対前期比 △6.3 低下)
- ・資金繰りD I △20.6 (対前期比 △12.3 悪化) 次期予想 △14.2 (対前期比 6.4 好転)

製造業景況天気図

時 期	売上額D I			採算D I			資金繰りD I		
	天気	値	変化	天気	値	変化	天気	値	変化
28年4月～6月		△16.7	↑		△18.2	↑		2.8	↑
28年7月～9月		△20.0	↓		△27.2	↓		△14.7	↓
28年10月～12月		△19.5	↑		△11.7	↑		△8.3	↑
29年1月～3月		△39.9	↓		△14.3	↓		△20.6	↓
29年4月～6月 (見通し)		△11.4	↑		△20.6	↓		△14.2	↑

(2) 建設業

建設業はすべての指標が2ケタ悪化

建設業では、売上額D Iが△25.0、採算D Iが△29.2、資金繰りD Iが△16.7となり、対前期比でそれぞれ33.4ポイント、33.4ポイント、21.1ポイント悪化、低下した。すべての指標が2ケタのマイナスとなった。































前期は、すべての指標がプラスの数値となったが、今期は、大幅に落ち込んだ。資金繰りD Iは2期連続で低下した。

次期は、すべての指標が大幅に改善する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △25.0 (対前期比 △33.4 悪化) 次期予想 △12.5 (対前期比 12.5 好転)
- ・採算D I △29.2 (対前期比 △33.4 悪化) 次期予想 △4.2 (対前期比 25.0 好転)
- ・資金繰りD I △16.7 (対前期比 △21.1 低下) 次期予想 △4.2 (対前期比 12.5 好転)

建設業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
28年4月～6月		△4.2 		△20.8 		△12.5 
28年7月～9月		0.0 		0.0 		9.1 
28年10月～12月		8.4 		4.2 		4.4 
29年1月～3月		△25.0 		△29.2 		△16.7 
29年4月～6月 (見通し)		△12.5 		△4.2 		△4.2 

(3) 小売業

小売業は2期ぶりにすべての指標が悪化

小売業では、売上額D Iが△36.1、採算D Iが△25.5、資金繰りD Iが△18.7となり、対前期比でそれぞれ15.2ポイント、7.2ポイント、8.5ポイント悪化した。































前期は、売上額D Iと採算D Iは4期ぶりに好転したが、今期は、再び悪化に転じた。特に、売上額D Iは2ケタのマイナスとなった。

次期は、すべての指標が好転する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △36.1 (対前期比 △15.2 悪化) 次期予想 △27.7 (対前期比 8.4 好転)
- ・採算D I △25.5 (対前期比 △7.2 悪化) 次期予想 △23.9 (対前期比 1.6 好転)
- ・資金繰りD I △18.7 (対前期比 △8.5 悪化) 次期予想 △14.9 (対前期比 3.8 好転)

小売業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
28年 4月～6月		△42.8 		△24.5 		△14.3 
28年 7月～9月		△44.9 		△32.7 		△22.4 
28年 10月～12月		△20.9 		△18.3 		△10.2 
29年 1月～3月		△36.1 		△25.5 		△18.7 
29年 4月～6月 (見通し)		△27.7 		△23.9 		△14.9 

(4) サービス業

サービス業はすべての指標が好転































サービス業では、売上額D Iが△8.5、採算D Iが△17.1、資金繰りD Iが△7.2となり、対前期比でそれぞれ11.5ポイント、11.5ポイント、13.1ポイント好転した。すべての指標が2ケタのプラスとなった。

前期まで、売上額D Iと採算D Iは3期連続の低下であったが、今期は、大幅に回復した。次期は、採算D Iは上昇の見通しであるが、売上額D I、資金繰りD Iは悪化が懸念される。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △8.5 (対前期比 11.5 好転) 次期予想 △12.9 (対前期比 △4.4 悪化)
- ・採算D I △17.1 (対前期比 11.5 好転) 次期予想 △15.7 (対前期比 1.4 上昇)
- ・資金繰りD I △7.2 (対前期比 13.1 好転) 次期予想 △11.4 (対前期比 △4.2 悪化)

サービス業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
28年4月～6月		△8.6 		△11.5 		△5.7 
28年7月～9月		△19.0 		△16.2 		△13.2 
28年10月～12月		△20.0 		△28.6 		△20.3 
29年1月～3月		△8.5 		△17.1 		△7.2 
29年4月～6月 (見通し)		△12.9 		△15.7 		△11.4 

3 設備投資の状況

	今期実施		来期計画	
	実施企業割合	主な投資内容	計画企業割合	主な投資内容
製造業	2.9%	付帯施設	8.6%	生産設備、OA機器
建設業	8.3%	建設機械、OA機器	0.0%	
小売業	6.2%	土地、車両運搬具 付帯施設、OA機器 その他	8.3%	販売設備、車両運搬具 OA機器、その他
サービス業	7.1%	サービス、付帯施設 OA機器	2.9%	建物、付帯施設 その他

4 経営上の問題点

業種	順位	問題点の内容	割合
製造業	1位	需要の停滞	19.4%
	2位	製品（加工）単価の低下、上昇難	16.1%
	3位	製品ニーズの変化 従業員確保難	12.9%
建設業	1位	民間需要の停滞	36.8%
	2位	請負単価の低下、上昇難 官公需要の停滞	15.8%
小売業	1位	需要の停滞	31.8%
	2位	購買力の他地域への流出	27.3%
	3位	大型店・中型店の進出による競争の激化	11.4%
サービス業	1位	需要の停滞	28.8%
	2位	店舗施設の狭隘・老朽化 材料等仕入単価の上昇	13.6%

中小企業景況調査について

1 調査目的

この調査は、四半期毎に、全国商工会連合会が行う中小企業景況調査から愛知県内商工会地区における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

2 調査要領

(1) 調査対象時期

平成29年1月から3月の第4四半期を対象とし、調査時点は平成29年3月1日。


(2) 調査対象企業

愛知県内12商工会地区内180企業。(内訳：製造業36企業、建設業24企業、小売業49企業、サービス業71企業)。

(3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書中のD Iとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については、下記のとおり

 雨 △100.0～△60.1	 曇 △ 60.0～△20.1	 薄曇 △ 20.0～20.0	 晴れ 20.1～60.0	 快晴 60.1～100.0
-------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成29年4月11日作成

愛知県商工会連合会 広域経営支援センター

TEL : 052-562-0041